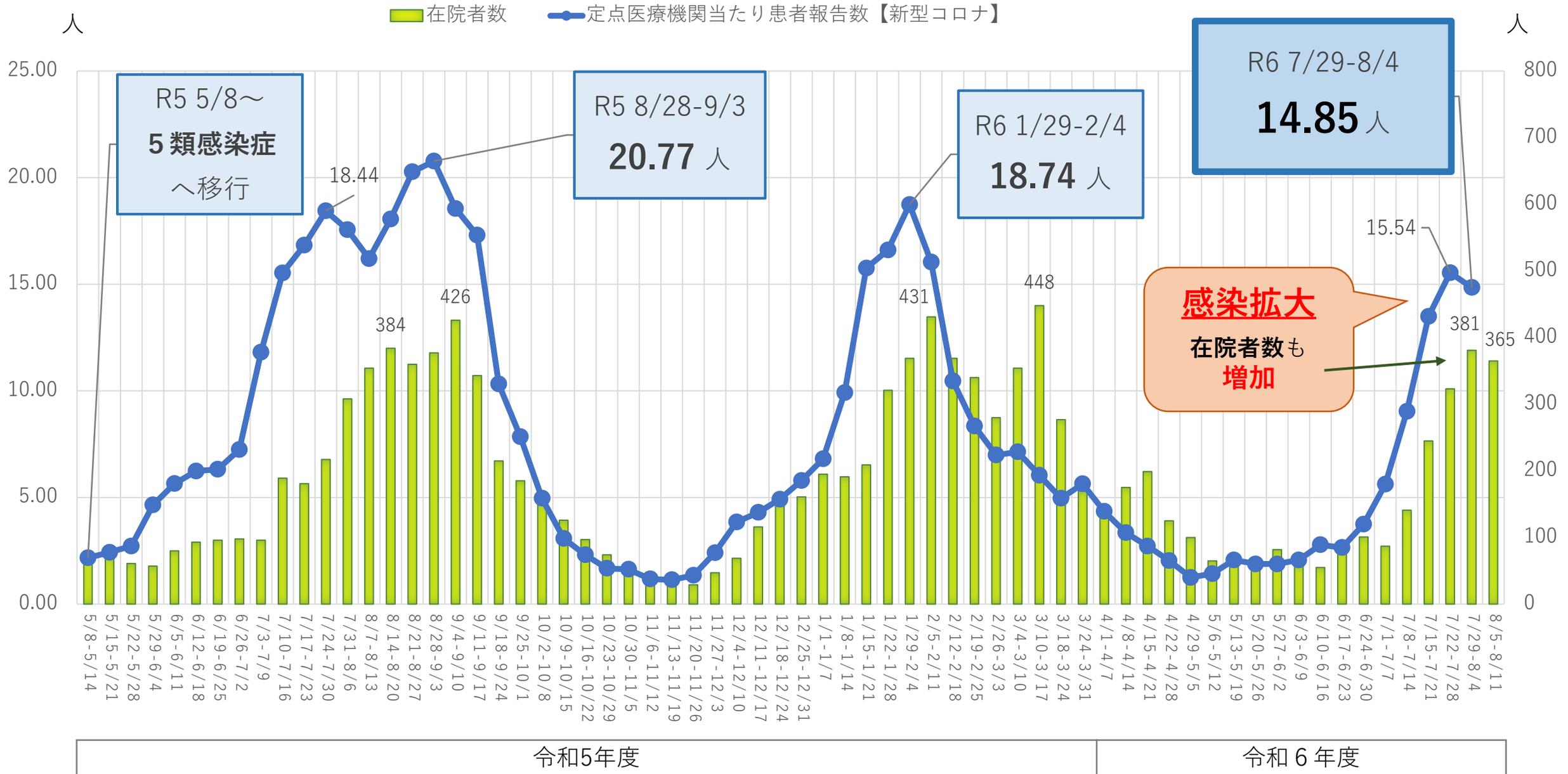


三重県 新型コロナウイルス感染症 定点医療機関あたり患者報告数



令和5年度

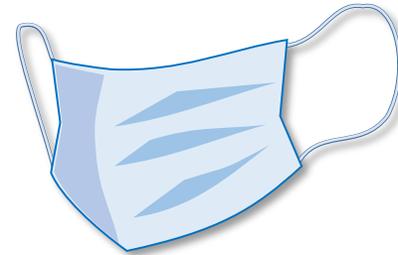
令和6年度

高齢者等に会う予定の皆さんへ

○重症化リスクの高い方に**感染させない**ために

- ・お盆の帰省などで**高齢者**等の**重症化リスクの高い方**に会うとき
- ・**医療機関**・**高齢者施設**等を訪問するとき

➡ **マスクの着用**を**推奨**！



感染を拡げない！

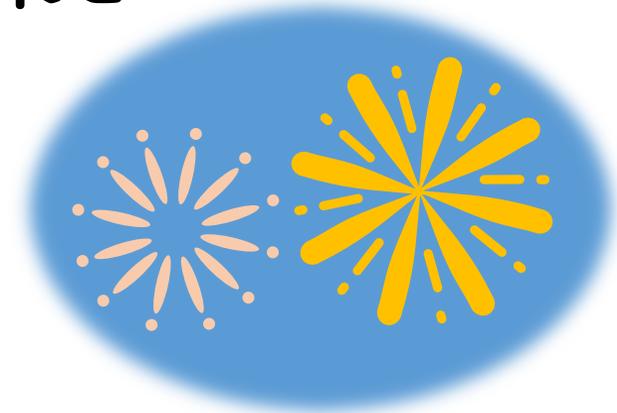
- ・発熱、せきなどの**風邪症状**があるときは、**無理せず休養**を



高齢者や基礎疾患のある方等、
重症化リスクの高い方に“**感染させないための行動**”を！！

○高齢者等の重症化リスクの高い方“ご本人”が**感染しない**ために

- ・換気、手洗い、手指消毒、マスクなどの感染防止対策を改めて徹底
- ・**イベント**や**観光地**などの人が多く集まる場所では、より一層慎重な行動を



○お盆期間の**休診中**の体調不良時の備え

- ・**解熱鎮痛薬、抗原定性検査キット**※などを事前に準備

※「体外診断用医薬品」又は「第1類医薬品」の表示のあるもの



新型コロナウイルス感染症相談窓口（24時間対応） 電話：050-5527-5385

ツキノワグマの出没状況について

全国

○令和6年度の人身被害は既に47件発生 (三重県調べ、R6年8月7日現在)

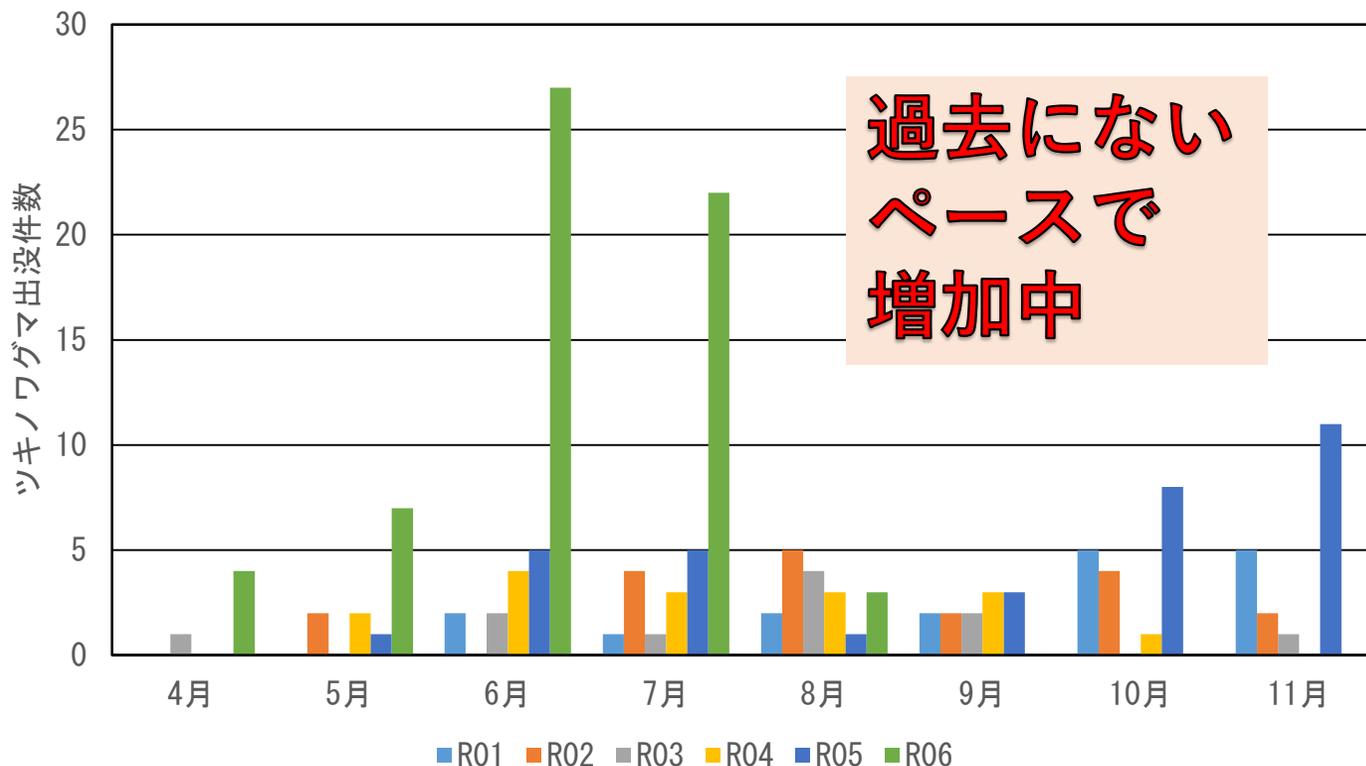
三重県

○令和6年度の出没件数は
8月7日時点で既に63件

※令和5年度の40件
(過去最多)を既に更新

○4月から7月のすべての月で
昨年を大幅に上回る状況

三重県におけるツキノワグマの月別出没件数



新たに「クマ アラート」を導入

◎注意報発表の基準

※県内を7つの地域（県の農林水産事務所の管轄）に分けて発表

①当該月のクマの出没件数（各事務所単位）が過去5年間の平均値（月単位）の2倍を超えるとき

②クマの出没による人身被害の発生が懸念されるとき

具体事例

- 人の生活圏への連続した出没
- 養蜂箱への連続した被害

◎警報発表の基準

※原則、市町単位で発表

クマによる人身被害が発生したとき。

事務所名	管内市町
四日市農林事務所	四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、木曾岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町
津農林水産事務所	津市
松阪農林事務所	松阪市、多気町、明和町、大台町
伊勢農林水産事務所	伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、南伊勢町、度会町、大紀町
伊賀農林事務所	伊賀市、名張市
尾鷲農林水産事務所	尾鷲市、紀北町
熊野農林事務所	熊野市、御浜町、紀宝町

基準に該当する場合は速やかに発表

※注意報、警報の発表期間は原則2か月間

「クマ アラート」発表時の対応

注意報発表時の対応

・注意看板の掲示 (新)

登山道、アウトドア施設、観光施設などで掲示

・研修会の開催 (新)

登山関係者、ガイド等を対象に被害防止の研修会を実施

・情報発信

市町と連携した防災無線や回覧板での注意喚起
観光三重HPとSNSを使った情報発信

・パトロールの実施

熊野古道におけるクマ対策

・クマ避け用品(鈴)の配布 (2,000個) (新)

語り部の方々、観光案内所等に配布し
来訪者へ貸出し

・注意看板の掲示 (新)

伊勢路沿線の案内看板等で掲示

・情報発信

熊野古道伊勢路HP等での注意喚起情報の発信

警報発表時の対応

・パトロール体制の強化と被害防止のための捕獲(駆除) (新)

・クマ専用捕獲檻の市町への貸し出し (新)

・警報発表地域における宿泊施設での注意喚起 (新)

住民の安全を最優先に
市町や猟友会と連携して取組を実施

みえのスポーツフォーラム2024

令和6年9月16日(月・祝)開催

会場:三重県総合文化センター 中ホール

卓球
金メダリスト

みずたに じゅん
水谷 隼さん 講演

パリ2024オリンピック・パラリンピック
出場の三重県ゆかりの選手の表彰

三重県地域スポーツ推進表彰式

入場無料

事前申込制
先着900名

申込期間
8月9日~9月9日

9月・10月は
みえのスポーツ
推進月間!!

先駆的で持続可能な観光地の構築支援補助金



▶ 高付加価値旅行者から選ばれる三重県を目指し、DMO等が受入環境整備等の計画を作成。計画に基づき宿泊施設や観光施設の改修等を支援。

2件の計画を採択



補助金総額 約4億3千万円

① 菰野町観光協会（事業者：16者、補助金：2.4億円）

計画名：菰野町ウェルネスツーリズムの旅

菰野町、湯の山温泉の地域資源を活用し、「心とカラダが整うまち」としての観光地ブランドの構築・定着を図り、「心もカラダも元気になる4要素（カラダを動かす、栄養を蓄える、心とカラダを休める、心を満たす）」を旅行者に訴求する。

② 伊勢志摩観光コンベンション機構（事業者：12者、補助金：1.9億円）

計画名：伊勢志摩エリアでさらにもう一泊してもらうための滞在価値を提供

伊勢志摩エリアの宿泊・観光施設の充実により旅行者の滞在期間を延ばし、伊勢神宮参拝にとどまらず、地域が持つ魅力をより深く味わっていただく。